



ご挨拶

暑中お見舞い申し上げます。
6月県議会定例会役員改選で、一年間務めた副議長職を辞任いたしました。皆様のお蔭をもちまして、無事任務を全うすることができました。有難うございました。

この一年は本当に貴重な経験をさせていただきました。
議長と共に幾つかの議会改革にも取り組みました。
特に、身を切る改革として、議員報酬の一割削減、行政が開催している審議会の見直し、議員間申し合わせ事項として、選挙区内での香典廃止、本会議での手話通訳取り入れの検討など、意義深い一年間がありました。

また、家族の中でも、妻が長年の福祉に功績があったと、藍綬褒章を授与され、夫婦にとっても嬉しい一年になりました。

この度の議会で、委員会の所属は、昨年に引き続き、総務警察委員会と南部・東部地域振興対策特別委員会に決まりました。
新委員会活動は元より、県政全般の多くの課題に、これからもしっかり取り組んで参ります。

25才で村議になり、県議会を通じて議員生活も32年が過ぎましたが、いつも心がけていることは、初めての選挙で、地元の有権者のおじさんから「実るほど頭の垂れる稻穂かな、選挙の時はペコペコ頭を下げるけど当選した途端に偉そうにする奴がある。そんな議員になったらあかん!」この言葉

を覚えておけよ」と言われたことを改めて思い出し、「一生初心」を胸に刻み、夏の夜の星を見ながら決意を新たにした次第です。今後とも皆様方のご指導、ご協力よろしくお願ひ致します。

いよいよ夏真っ盛りの季節になりますが、皆様方におかれましてはどうかお体にご自愛され、ご健勝の日々をお過ごしされますことをご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

最後に今年も後援会で日帰りバス旅行を計画していただきました。何かとお忙しい時期かと存じますが、皆様お誘い合わせの上、ご参加していただければありがたいです。
よろしくお願ひ申し上げます。

副議長として一年間の議会の主な取り組み

▶ 昨年9月、議員報酬条例可決
(財政状況が厳しい折、議員報酬を減額、年間約4,200万円の経費削減が図れ、任期の2019年4月までに約1億4,600万円の経費削減が図れる)

▶ 昨年12月、虚礼廃止に関して、議員の総意として、「選挙区内における香典については一切行わないこと」という申し合わせをおこなった。

▶ 聴覚障害をもっておられる方々に開かれた議会を目指す取り組みとして、本会議のテレビ中継、インターネット中継での手話通訳の放映について、具体的な検討をすすめている。

